



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 HPCシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6597 URL <https://www.hpc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小野 鉄平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 下川 健司 (TEL) 03-5446-5530
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	5,558	—	452	—	439	—	309	—
2023年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 308百万円(—%) 2023年6月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	72.01	71.42
2023年6月期第3四半期	—	—

(注) 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期第3四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	5,332	2,497	46.80
2023年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 2,495百万円 2023年6月期 ー百万円

(注) 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年6月期については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年6月期	—	0.00	—		
2024年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	—	350	—	336	—	230	—	53.57

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2024年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、通期の対前期の増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	4,360,500株	2023年6月期	4,358,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	65,931株	2023年6月期	65,907株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	4,292,637株	2023年6月期3Q	4,275,850株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇による景気下押し要因はあったものの、所得環境改善を背景とした個人消費の回復や訪日外国人の増加など景気の緩やかな回復傾向がみられました。しかしながら、深刻化するウクライナ情勢や中東情勢など相次ぐ地政学リスクの顕在化による資源価格の高騰、不動産市況低迷による中国経済の停滞、為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属するコンピューティング業界においては、計算科学シミュレーション、クラウド、人工知能(AI)、ディープラーニング、ビッグデータ処理等の技術革新に対する需要は引き続き堅調であります。デジタル化の流れは様々な分野におよんでおり、顧客のデジタルトランスフォーメーション(DX)関連投資は増加傾向にあり、当社が提供する製品・サービスなどのコンピューティングソリューションのさらなる需要拡大が期待されます。一方、世界的な生成AI開発競争が激しく、AIやスーパーコンピューター向け高性能画像処理半導体(GPU)の入手性悪化により、顧客の需要にタイムリーに対応することが難しくなる事態が想定されます。主要仕入先との連携を強化するとともに、電子部品市場の動向を把握することで、顧客の要望に沿ったコンピューティングソリューションを提供できるよう施策を進めております。

このような環境において当社は、持続的成長を支える経営基盤の強化を図るため、従来より人財の充実に注力してきました。人的資本に関する基本的な考え方として「人財グランドデザイン」を策定し、戦略的に人的資本の強化を進めております。人財強化が進んだ結果として、先端技術の知見を有する多様な技術系人財を集結することで「先端技術開発センター」を開設し、高度化する顧客の課題や要望に対する製品・サービスを提供する体制を構築しております。当社の強みである大学公官庁や民間企業など幅広い顧客基盤に対して、高付加価値の製品・サービスを提供することで、さらなる収益力強化を図っております。又、2020年5月設立のベトナム現地法人が一定の成果をあげ連結子会社化するなど、国内市場中心のビジネスモデルから海外事業の基盤強化を進めております。一方、円安進行による輸入コストの上昇、高性能画像処理半導体(GPU)の需要増加による入手性悪化など不透明な要因はありますが、迅速かつ柔軟に対応することで業績向上を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,558,786千円、営業利益452,347千円、経常利益439,225千円、親会社株主に帰属する四半期純利益309,114千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HPC事業

大学等公的研究機関向け、及び民間企業向けが堅調に推移した他、ベトナム現地法人が中心となり海外大規模案件を受注するなど、大規模・中規模案件の積み上げにより一定の売上を計上することができました。採算面では民間企業向けで一部の低粗利大規模案件の影響を受けたこと、及び人財強化に伴う人件費の増加等により販売管理費は増加傾向にあるものの、セグメント利益となりました。

以上の結果、HPC事業の売上高は3,693,642千円、セグメント利益は346,412千円となりました。

② CTO事業

継続顧客向け売上は、業種毎にまだら模様ではあるものの代理店との連携強化により比較的堅調に推移しました。新規顧客向け売上もインフラ関連向けの受注を獲得するなど回復傾向となりました。採算面では円安進行により輸入コストは上昇傾向にあるものの、コスト上昇分を顧客へ価格転嫁を進めた他、営業経費の削減に努めたことなどによりセグメント利益となりました。

以上の結果、CTO事業の売上高は1,865,144千円、セグメント利益は105,935千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,967,804千円となりました。主な内訳は、現金及び預金2,340,549千円、受取手形及び売掛金1,526,201千円、棚卸資産708,221千円であります。固定資産は364,921千円となりました。主な内訳は、有形固定資産152,334千円、投資その他の資産192,837千円であります。

以上の結果、総資産は5,332,726千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,234,496千円となりました。主な内訳は、短期借入金750,000千円、支払手形及び買掛金349,995千円、1年内返済予定の長期借入金407,228千円であります。固定負債は601,100千円となりました。内訳は、長期借入金が601,100千円であります。

以上の結果、負債合計は2,835,596千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,497,130千円となりました。主な内訳は、資本金230,145千円、資本剰余金349,264千円、利益剰余金2,082,228千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました2024年6月期の連結業績予想を以下の通り修正いたしました。

なお、修正内容の詳細につきましては、本日(2024年5月15日)別途開示しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回(2023年11月13日) 発表予想(A)	7,510	732	705	458	106.70
今回修正予想(B)	6,900	350	336	230	53.57
増減額(B-A)	△610	△382	△369	△228	—
増減率(%)	△8.1	△52.2	△52.3	△49.8	—

(注) 2024年6月期第1四半期より連結決算を開始しておりますので、前期実績(2023年6月期)の数値は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,340,549
受取手形及び売掛金	1,526,201
電子記録債権	245,639
製品	18,749
仕掛品	133,720
原材料及び貯蔵品	521,900
未着品	33,849
前渡金	10,232
その他	136,960
流動資産合計	4,967,804
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	47,619
機械及び装置（純額）	74,517
車両運搬具（純額）	2,128
工具、器具及び備品（純額）	13,370
土地	14,698
有形固定資産合計	152,334
無形固定資産	
ソフトウェア	19,750
無形固定資産合計	19,750
投資その他の資産	
繰延税金資産	117,741
その他	75,095
投資その他の資産合計	192,837
固定資産合計	364,921
資産合計	5,332,726

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	349,995
短期借入金	750,000
1年内返済予定の長期借入金	407,228
未払法人税等	77,724
前受金	230,933
賞与引当金	86,696
役員賞与引当金	15,750
製品保証引当金	46,561
その他	269,606
流動負債合計	2,234,496
固定負債	
長期借入金	601,100
固定負債合計	601,100
負債合計	2,835,596
純資産の部	
株主資本	
資本金	230,145
資本剰余金	349,264
利益剰余金	2,082,228
自己株式	△165,902
株主資本合計	2,495,736
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	1,394
その他の包括利益累計額合計	1,394
純資産合計	2,497,130
負債純資産合計	5,332,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2024年3月31日)
売上高	5,558,786
売上原価	3,986,276
売上総利益	1,572,510
販売費及び一般管理費	1,120,162
営業利益	452,347
営業外収益	
受取利息	1,371
保険配当金	480
確定拠出年金返還金	717
為替差益	7,669
その他	255
営業外収益合計	10,494
営業外費用	
支払利息	9,574
支払手数料	13,862
その他	180
営業外費用合計	23,617
経常利益	439,225
特別損失	
固定資産売却損	4
固定資産除却損	0
特別損失合計	4
税金等調整前四半期純利益	439,220
法人税、住民税及び事業税	133,942
法人税等調整額	△3,836
法人税等合計	130,106
四半期純利益	309,114
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,114

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2023年7月1日
至 2024年3月31日)

四半期純利益	309,114
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△494
その他の包括利益合計	△494
四半期包括利益	308,619
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	308,619

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
一定時点で移転される財	3,602,504	1,865,144	5,467,649	—	5,467,649
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	91,137	—	91,137	—	91,137
顧客との契約から生じる収益	3,693,642	1,865,144	5,558,786	—	5,558,786
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,693,642	1,865,144	5,558,786	—	5,558,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,693,642	1,865,144	5,558,786	—	5,558,786
セグメント利益	346,412	105,935	452,347	—	452,347

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。